

デューイ十進分類法、中文図書分類法、日本十進分類法の比較

A Comparative Study among Dewey Decimal Classification, New Classification Scheme for Chinese Libraries and Nippon Decimal Classification

学籍番号：201421618

氏名：張 恵

Hui ZHANG

本研究では、『デューイ十進分類法』(DDC)を軸にして『中文図書分類法』(NCSL)と『日本十進分類法』(NDC)の三者を比較分析することで、『中文図書分類法』の特徴を明確にすることを目的とした。これらはいずれも同じ十進分類法という性質をもつ分類法である。まず、3つの分類法に関する先行研究を調査した。次に3つの分類法について、本表の分類体系の設置、補助表の構成と使い方、索引の排列を比較した。

DDC、NDC との比較により、NCSL の以下の特徴が明らかになった。

(1) DDC や NDC に比べて総記類に政治に関する項目が多い、宗教類は DDC がキリスト教中心であるのに対して NCSL は NDC と同様に世界の多くの宗教が比較的公平に扱われているなど、本表の体系に中国やアジアの文化・政治に特有の特徴が現れている。

(2) NCSL の本表や補助表において言語で区分される項目には単語どうしを組み合わせるための詞法や句法という特別な区分がある、索引の排列順序は DDC や NDC のような音順ではなく漢字の画数順であるなど、中国語という言語に特有の特徴が見られる。

(3) NCSL では新聞学を情報伝播メディアの一種としてではなく文学形式の一種として扱っているため DDC や NDC のように総記類に置くのではなく言語類に置いている、DDC や NDC は社会科学類においてより人文的な項目(教育、民俗学など)を下の方の順位においているが NCSL では上の方の順位に配置しているなど、学問分野のとらえ方の相違が影響している特徴が見られる。

(4) NCSL では歴史・地理を中国の歴史地理類と世界の歴史地理類に分けているなど、項目のバランスに中国特有の特徴が見られる。

研究指導教員：緑川 信之

副研究指導教員：呑海 沙織